

報告事項 2

相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）について

■横浜市踏切安全対策実施計画

横浜市踏切安全対策実施計画 (平成28年3月策定)

対象踏切：市内167※箇所

歩行者対策（8箇所）

- ・ 踏切の拡幅（歩道設置）
- ・ 跨線人道橋の整備 等

自動車対策（2箇所）

- ・ 道路の単独立体交差

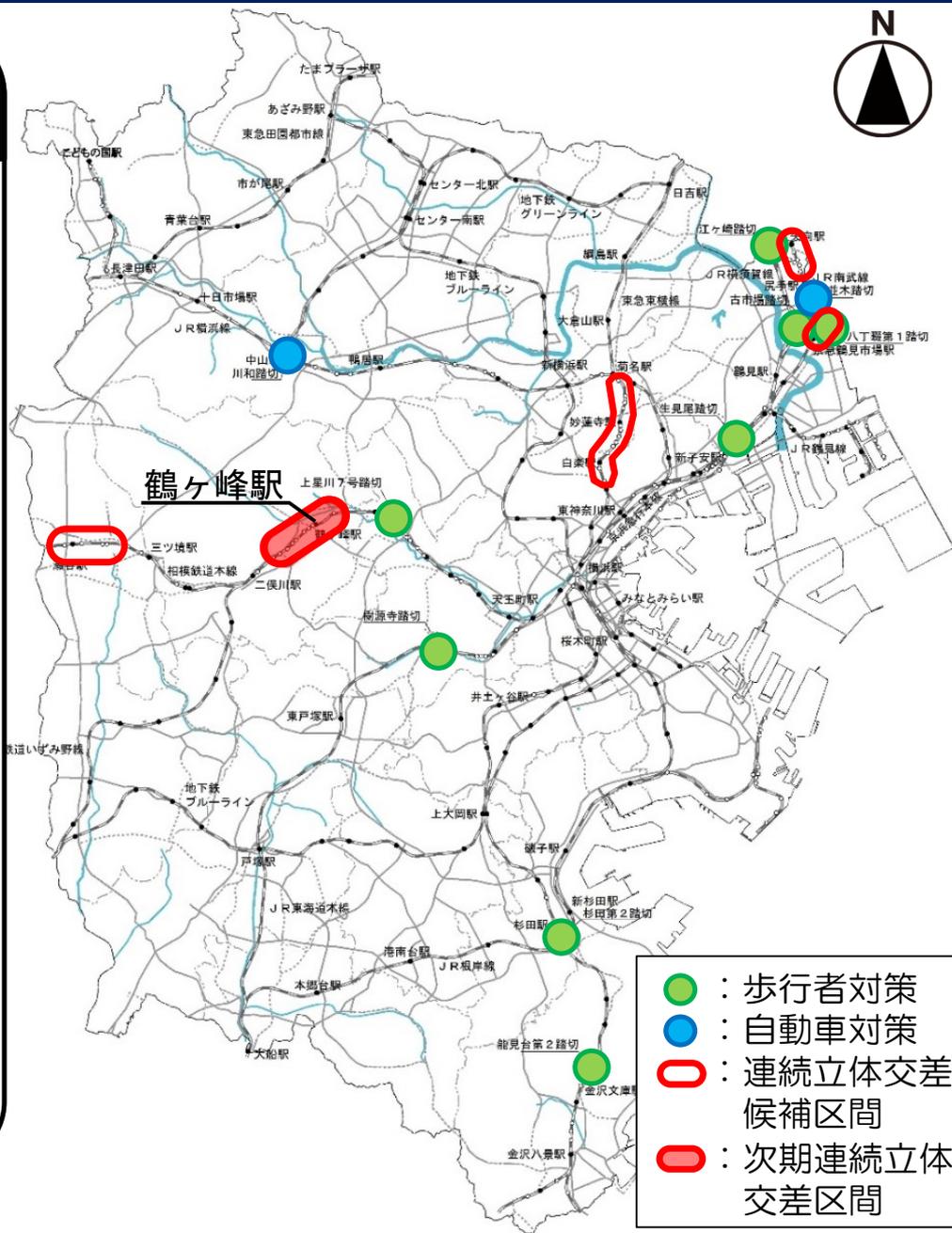
総合的な対策 連続立体交差候補（5区間）

選定条件

- ・ 踏切数
- ・ 交通遮断量 等

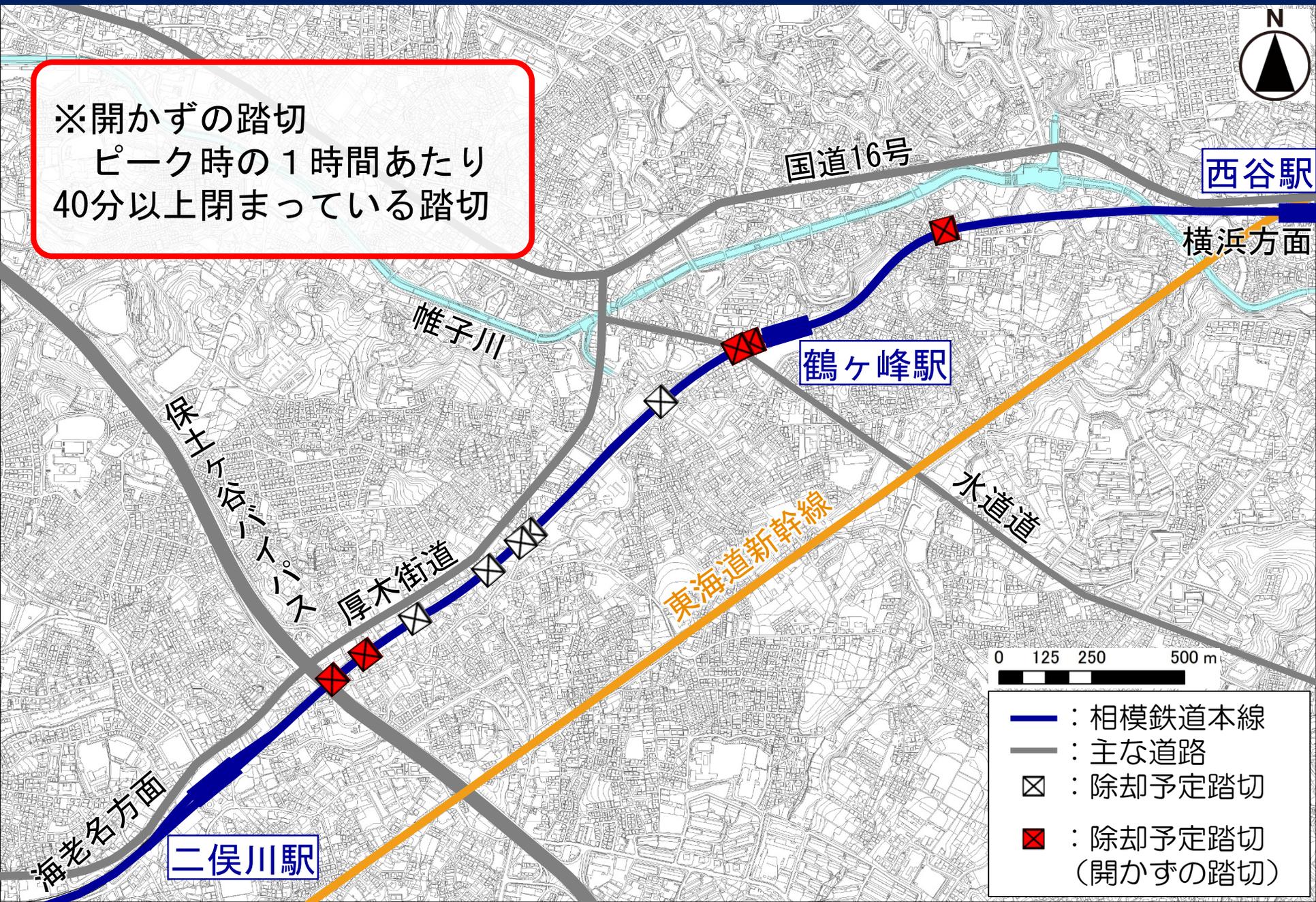
相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）
を選定

※令和2年7月現在：157箇所

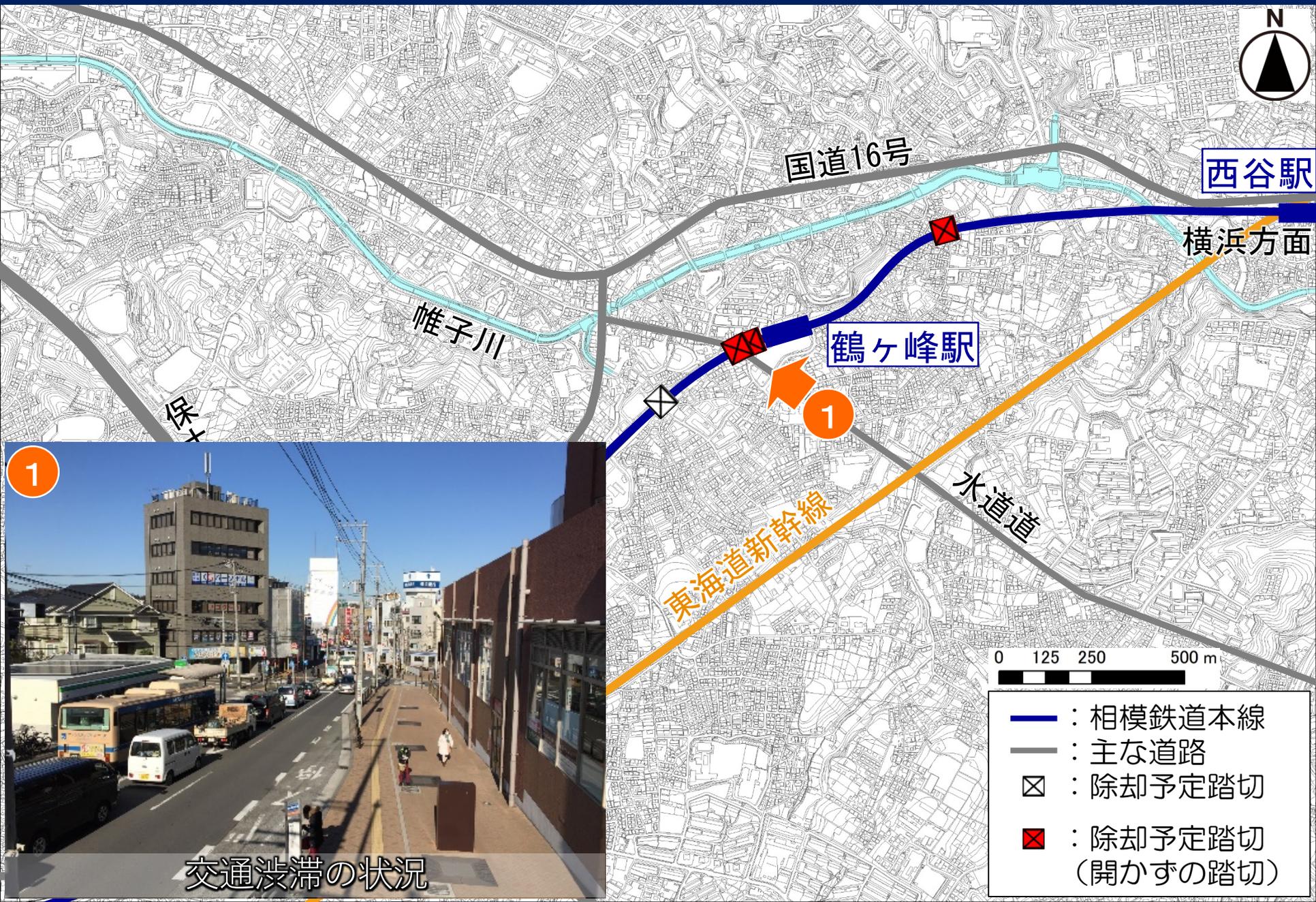


■ 除却予定踏切

※開かずの踏切
ピーク時の1時間あたり
40分以上閉まっている踏切



■現況写真



■現況写真



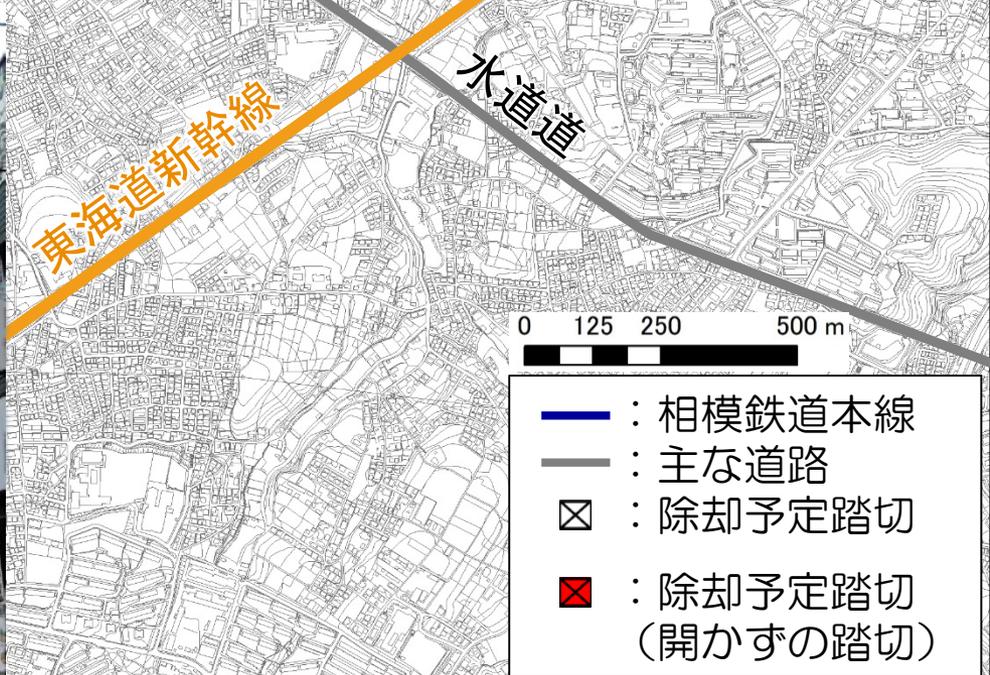
歩行者の踏切待ち状況



0 125 250 500 m

- (Blue line) : 相模鉄道本線
- (Grey line) : 主な道路
- ⊗ : 除却予定踏切
- ⊗ (with diagonal line) : 除却予定踏切 (開かずの踏切)

■現況写真



■都市計画決定の理由

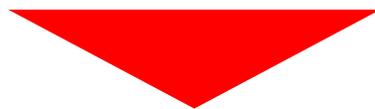
道路と鉄道との連続立体交差化により、
10箇所 の踏切を除却することで、

踏切における渋滞の解消

歩行者の安全性の向上

災害時等における緊急活動の迅速化

鉄道に分断された地域の一体化

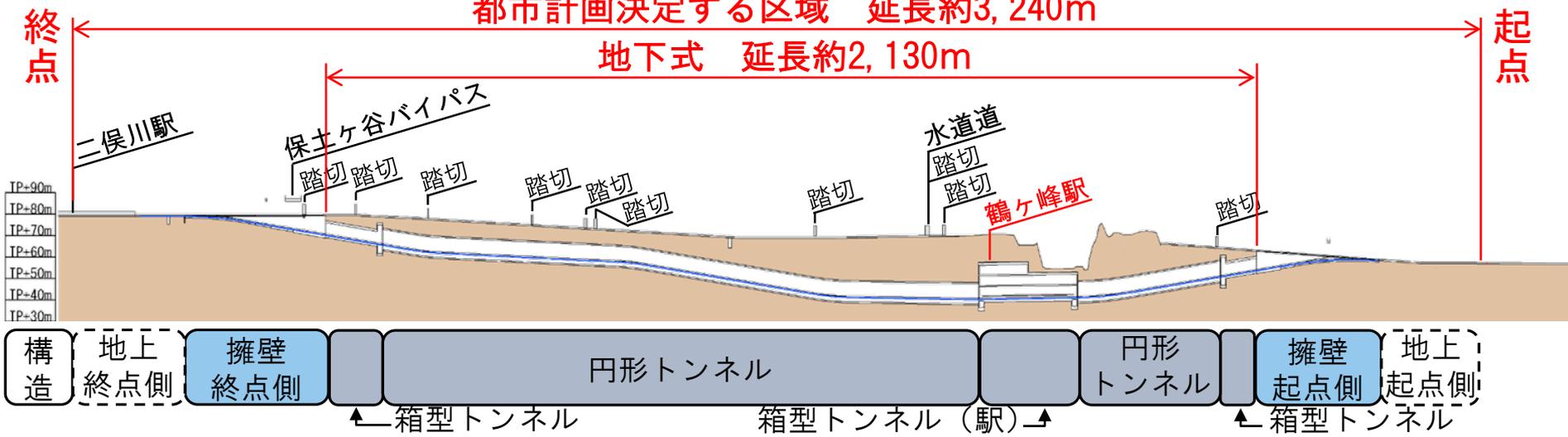


相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）の
都市計画決定に向けて手続中

■都市計画市素案の概要等



縦断図 (参考)



都市計画市素案の概要等

地上(終点側) (参考)

都市計画決定する区域

15.6m~33.9m

留置線



地上(起点側) (参考)

都市計画決定する区域

10.3m
~22.0m



海老名方面

パス

厚木街道

二俣川駅

帷子川

鶴ヶ峰駅

水道道

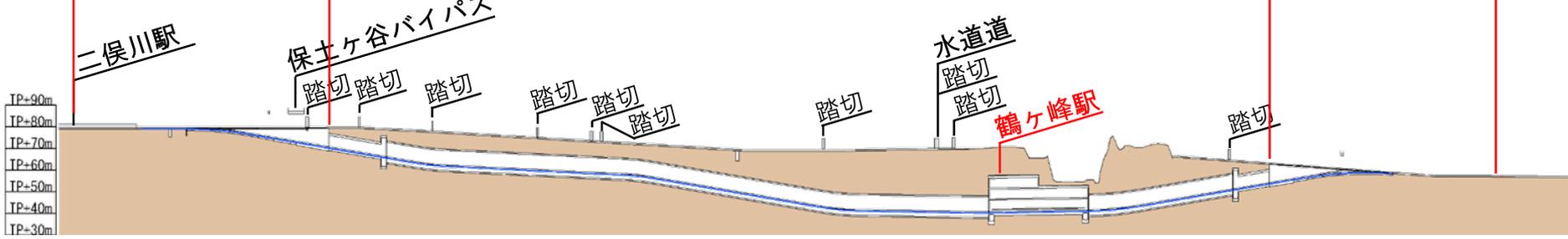
横浜方面

0 125 250 500 m

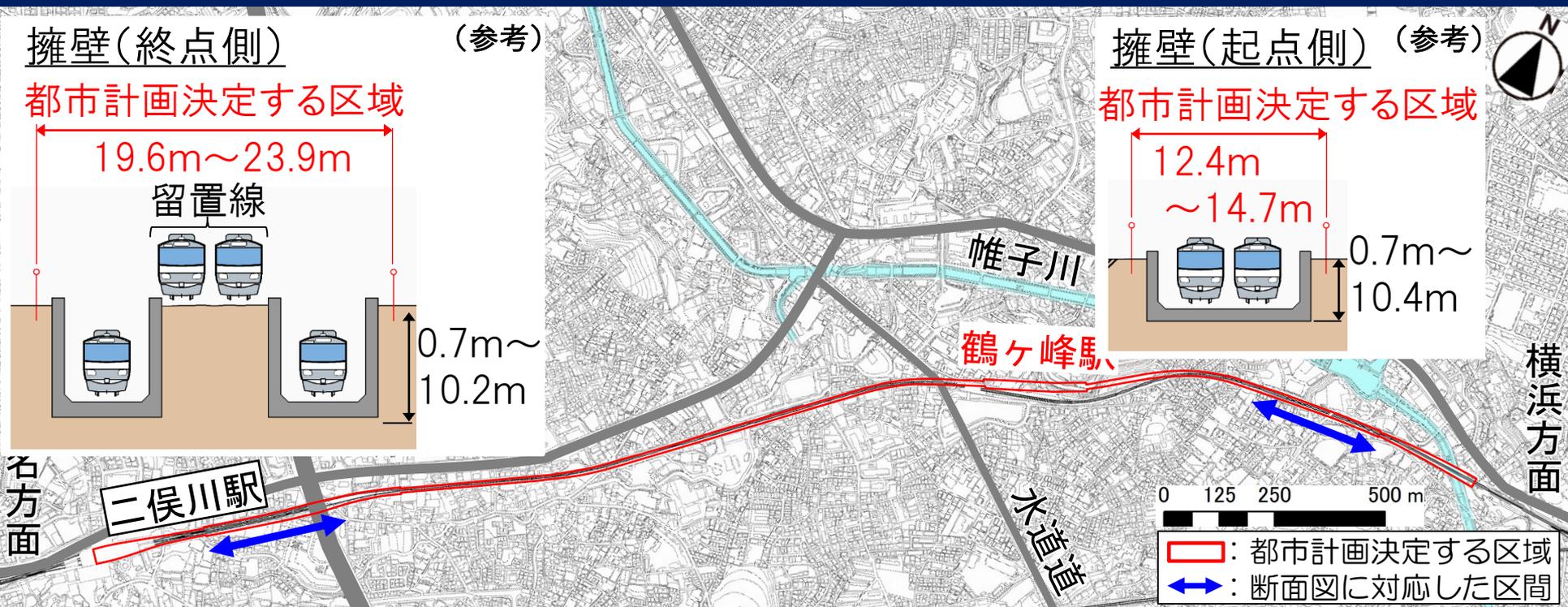
都市計画決定する区域
断面図に対応した区間

縦断面図 (参考)

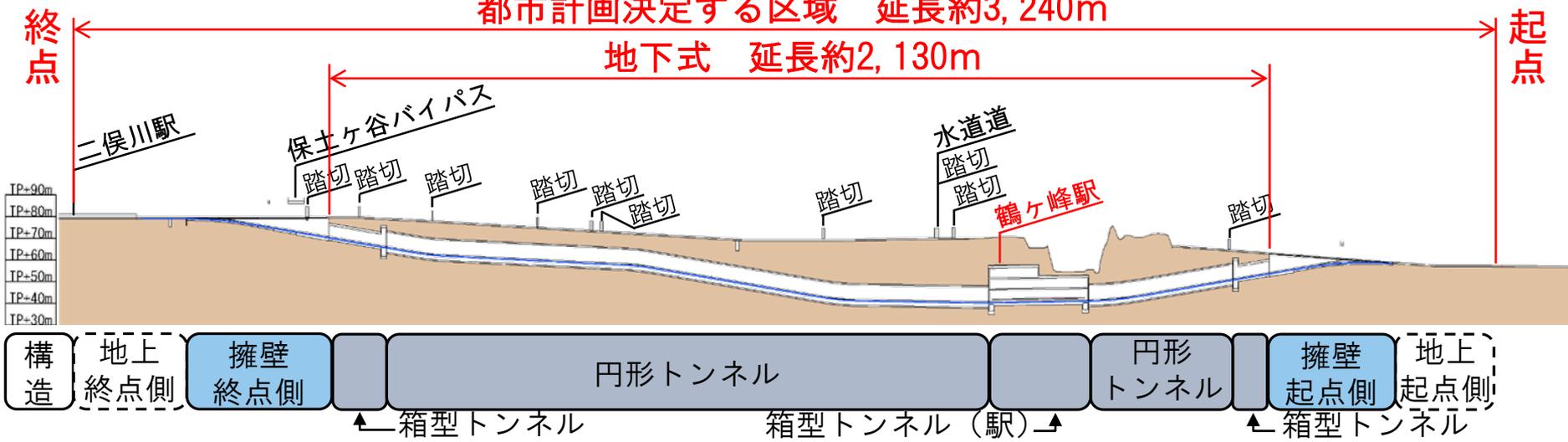
終点 ← 都市計画決定する区域 延長約3,240m → 起点
地下式 延長約2,130m



都市計画市素案の概要等



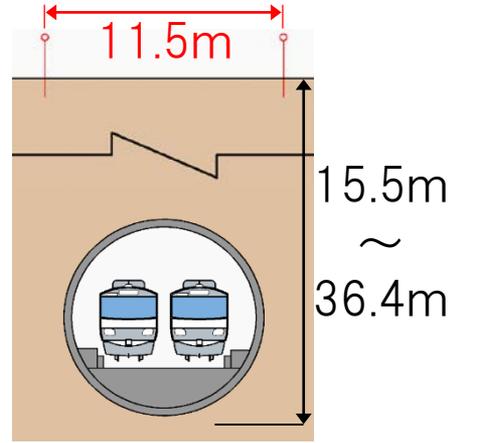
縦断図 (参考)



■都市計画市素案の概要等

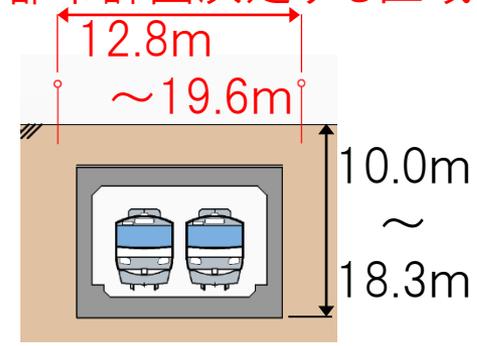
円形トンネル (参考)

都市計画決定する区域



箱型トンネル (参考)

都市計画決定する区域



方面

厚木街道

二俣川駅

帷子川

鶴ヶ峰駅

国道16号

水道道

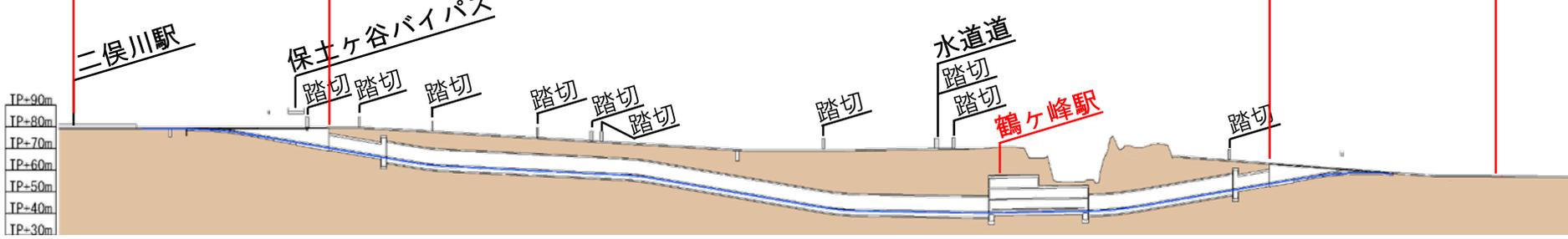
横浜方面

0 125 250 500 m

: 都市計画決定する区域
↔ : 断面図に対応した区間

縦断図 (参考)

← 終点 → 起点
— 都市計画決定する区域 延長約3,240m
— 地下式 延長約2,130m



都市計画市素案の概要等

箱型トンネル(駅)

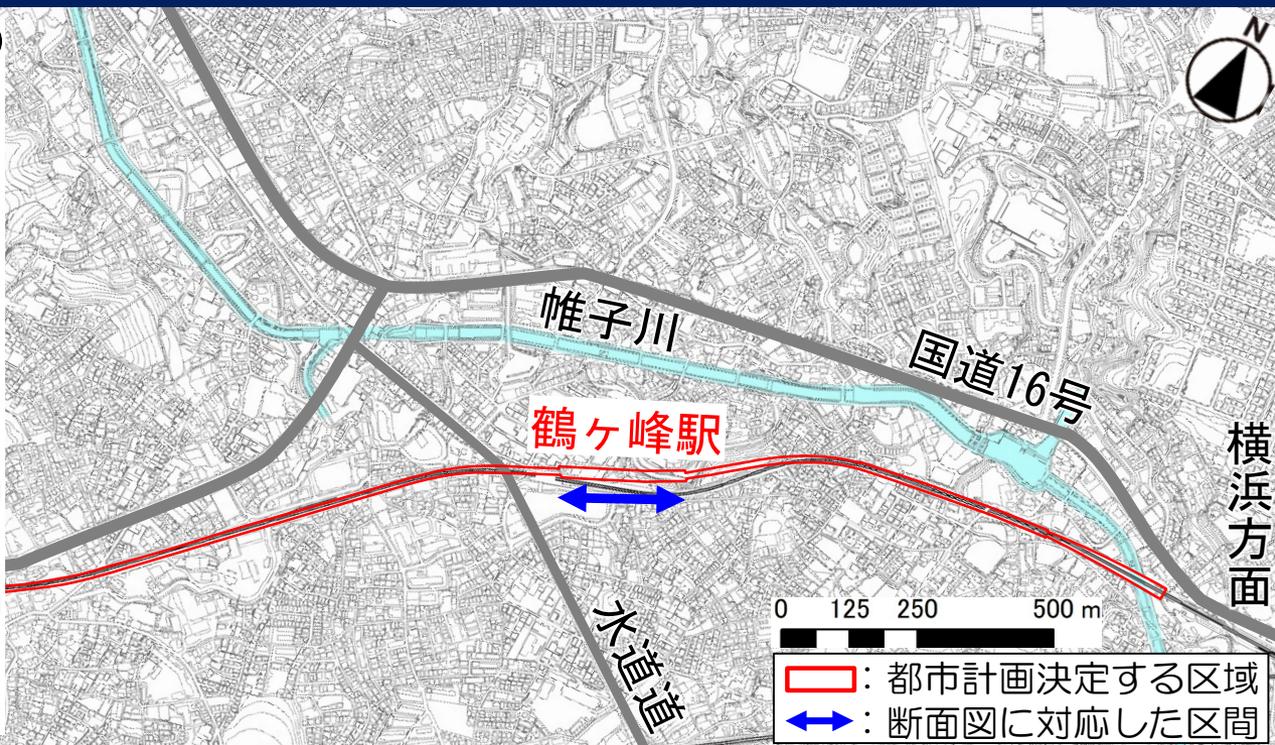
(参考)

都市計画決定する区域

19.1m~22.7m

一部2層構造

15.0m
~
34.2m

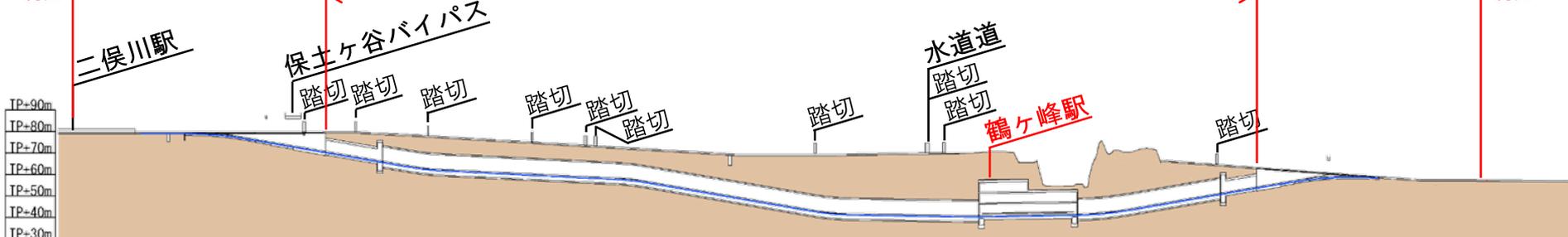


0 125 250 500 m

: 都市計画決定する区域
↔ : 断面図に対応した区間

縦断面図(参考)

← **都市計画決定する区域 延長約3,240m** → **起点**
← **地下式 延長約2,130m** →



■ 手続の流れ

都市計画手続の流れ

事業説明会【令和元年5月】

都市計画市素案の作成

都市計画市素案説明会

【令和2年2月13日、15日】

都市計画市素案（公告・縦覧）

【令和2年2月14日～28日】

公聴会

【令和2年4月24日】

都市計画案の作成

現在

都市計画案（公告・縦覧）【45日間】

都市計画審議会

都市計画決定（告示・縦覧）

環境影響評価手続の流れ

配慮書（公告・縦覧）【平成30年9月～10月】

方法書の作成

方法書（公告・縦覧）【令和元年10月～12月】

方法書説明会【令和元年11月】

準備書の作成

準備書（公告・縦覧）【45日間】

準備書説明会

準備書意見見解書（公告・縦覧）【15日間】

評価書の作成

評価書（公告・縦覧）

事業認可（令和4年度(2022年度)目標）

■市素案説明会の開催状況

開催日	場所	来場者数
令和2年2月13日(木)	旭公会堂	計251名
令和2年2月15日(土)		

■市素案説明会での主な質問と回答

質問	回答
相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）を事業化することとした理由は？	開かずの踏切数や交通遮断量、優先整備路線の有無、まちづくりなどの項目で総合的に評価し、相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）を最も優先的に事業化の検討を進める区間としました。
施工はどのように行っていくのか？	今後、詳細な施工計画の検討を進めます。今回の都市計画決定する区域外においても、進入路、作業ヤード等が必要になる可能性があります。
工事車両の走行ルートや工事騒音、河川の水質への影響について知りたい。	都市計画手続と合わせて、環境影響評価を実施しています。 その中で、調査・予測・評価等を行っていきます。

開催日	公述人
令和2年4月24日(金)	2名

※ 「公述意見の要旨と市の考え方」 参照

■環境影響評価手続について

鉄道及び軌道の建設（鉄道の改良）

- ・ 1 km以上の高架化、地下化、掘割化

➡ 横浜市環境影響評価条例の対象事業

※横浜市環境影響評価条例第2条、横浜市環境影響評価条例施行規則第3条

対象事業が都市施設として都市計画に定められる場合

➡ 環境影響評価の手続を都市計画決定権者が 都市計画手続と併せて行う

※横浜市環境影響評価条例第46条

■環境影響評価手続とその流れ

環境影響評価とは

事業が環境に及ぼす影響について、

- ・ 事前に調査、予測、評価
- ・ その結果を公表
- ・ 市民等から意見を聴くなどの手続を実施

適切な環境保全対策等を検討し、事業計画に反映させる制度

環境影響評価手続の流れ



■ 今後の手続の流れ

都市計画手続の流れ

事業説明会【令和元年5月】

都市計画市素案の作成

都市計画市素案説明会
【令和2年2月13日、15日】

都市計画市素案（公告・縦覧）
【令和2年2月14日～28日】

公聴会

【令和2年4月24日】

都市計画案の作成

現在

都市計画案（公告・縦覧）【45日間】

意見書受付

都市計画審議会

都市計画決定（告示・縦覧）

環境影響評価手続の流れ

配慮書（公告・縦覧）【平成30年9月～10月】

方法書の作成

方法書（公告・縦覧）【令和元年10月～12月】

方法書説明会【令和元年11月】

準備書の作成

準備書（公告・縦覧）【45日間】

準備書説明会

意見書受付

準備書意見見解書（公告・縦覧）【15日間】

評価書の作成

評価書（公告・縦覧）

事業認可（令和4年度(2022年度)目標）